



平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月13日  
東

上場会社名 株式会社レイ 上場取引所  
コード番号 4317 URL <http://www.ray.co.jp>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)分部 至郎  
問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)牧田 渉 (TEL)03(5410)3861  
四半期報告書提出予定日 平成27年10月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の連結業績(平成27年3月1日~平成27年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	5,645	6.1	329	104.1	315	120.5	275	565.9
27年2月期第2四半期	5,321	15.9	161	△14.7	142	△21.2	41	△55.4

(注) 包括利益 28年2月期第2四半期 157百万円(337.8%) 27年2月期第2四半期 35百万円(△61.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年2月期第2四半期	21.44		21.38	
27年2月期第2四半期	3.25		3.23	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	8,677		3,525		40.6	
27年2月期	8,789		3,426		38.7	

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 3,524百万円 27年2月期 3,405百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
27年2月期	—	0 00	—	5 00	5 00	5 00
28年2月期	—	0 00	—	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	6 00	6 00	6 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日~平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	12,000	4.6	600	19.5	550	22.5	430	41.3	33.44	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

除外2社(社名) 株式会社ティーシー・マックス、株式会社ニッポンムービー大阪

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期2Q	14,328,976株	27年2月期	14,328,976株
② 期末自己株式数	28年2月期2Q	1,434,962株	27年2月期	1,544,962株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期2Q	12,858,536株	27年2月期2Q	12,757,041株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、低金利が続くなど良好な投資環境が継続していることや所得雇用環境の改善が続いていることなどから緩やかな回復基調にあるものの、実質賃金の伸び悩みにより節約志向も根強く、個人消費の持ち直しの動きは鈍いことや、新興国経済の減速が強まっており、景気の先行き不透明感が拭い切れない状況にあります。

当社グループの主要な市場である広告業界におきましては、経済産業省の特定サービス産業動態統計調査によりますと、広告業界の売上高は6、7月は前年実績を若干下回ってはいるものの、概ね堅調に推移しております。

このような経済、市場環境のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、これまでの積極的な設備投資の結果、コンサート案件等をはじめとして、受注が堅調に推移したこと等により5,645百万円(前年同期比6.1%増)に、営業利益は329百万円(同104.1%増)、経常利益は315百万円(同120.5%増)に、四半期純利益は、期初の連結子会社の再編に伴い繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、連結子会社において繰延税金資産を計上したこと等により275百万円(同565.9%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (広告ソリューション事業)

S P(セールスプロモーション)・イベント部門につきましては、市場環境が緩やかながら回復傾向にあったことから、業績は堅調に推移いたしました。TV CM(テレビコマーシャル)部門につきましても、価格競争の影響を受けているものの、安定した受注ができたこと及び経費コントロール徹底の効果等から業績は堅調に推移いたしました。

この結果、広告ソリューション事業の売上高は、2,902百万円(同11.9%増)、営業利益は183百万円(同71.0%増)となりました。

#### (テクニカルソリューション事業)

映像機器レンタル部門は、積極的に進めていた設備投資の効果等もありコンサート案件等をはじめとして受注が堅調に推移し、業績は好調に推移いたしました。ポストプロダクション部門におきましては、編集スタジオは堅調に稼働しているものの受注・価格競争が増している影響も引き続いており、業績は低調に推移いたしました。

この結果、テクニカルソリューション事業の売上高は、2,742百万円(同0.5%増)、営業利益は458百万円(同27.0%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 財政状態の状況

##### (資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて186百万円減少し4,906百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加234百万円、受取手形の増加129百万円、売掛金の減少868百万円、たな卸資産の増加240百万円、繰延税金資産の増加55百万円によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べて74百万円増加し3,770百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の増加272百万円、投資有価証券の減少193百万円によるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて112百万円減少し8,677百万円となりました。

##### (負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて263百万円減少し3,796百万円となりました。主な要因は、買掛金の減少233百万円、短期借入金の増加100百万円、リース債務の増加87百万円、未払消費税等の減少109百万円によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べて52百万円増加し1,354百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少80百万円、リース債務の増加197百万円、繰延税金負債の減少68百万円によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて210百万円減少し5,151百万円となりました

##### (純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて98百万円増加し3,525百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加211百万円、その他有価証券評価差額金の減少120百万円によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末に比べて234百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末は1,222百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は604百万円(前年同期比10.8%減)となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益の計上324百万円、減価償却費の計上313百万円、売上債権の減少732百万円であり、主な減少要因は、たな卸資産の増加240百万円、仕入債務の減少233百万円、法人税等の支払額141百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は100百万円(同3.2%減)となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出77百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は269百万円(同92.1%増)となりました。

主な要因は、リース債務の返済による支出242百万円、配当金の支払額63百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の連結業績予想につきましては、平成27年10月6日に公表しました業績予想に変更はありません。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、平成27年3月1日をもって当社の連結子会社でありました株式会社ティーン・マックス、株式会社ニッポンムービー大阪他2社は、株式会社ニッポンムービー(現 株式会社クレイ)を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	988,196	1,222,392
受取手形	223,115	352,734
売掛金	3,226,849	2,357,857
たな卸資産	417,075	657,322
繰延税金資産	126,327	181,349
前払費用	89,754	110,008
その他	37,604	31,794
貸倒引当金	△15,569	△6,881
流動資産合計	5,093,354	4,906,579
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	775,777	795,222
減価償却累計額	△170,149	△182,213
建物及び構築物(純額)	605,627	613,008
機械装置及び運搬具	984,782	1,010,138
減価償却累計額	△770,661	△787,539
機械装置及び運搬具(純額)	214,120	222,598
工具、器具及び備品	278,867	285,337
減価償却累計額	△231,828	△240,520
工具、器具及び備品(純額)	47,038	44,817
土地	1,109,883	1,109,883
リース資産	1,682,823	2,103,726
減価償却累計額	△803,180	△965,718
リース資産(純額)	879,643	1,138,007
有形固定資産合計	2,856,314	3,128,314
無形固定資産		
ソフトウェア	65,609	55,759
のれん	21,971	19,224
その他	7,599	7,580
無形固定資産合計	95,180	82,565
投資その他の資産		
投資有価証券	479,327	285,387
出資金	369	12,444
長期貸付金	8,168	6,593
破産更生債権等	29,425	36,325
長期前払費用	10,006	11,448
敷金及び保証金	201,707	198,143
保険積立金	49,473	49,473
繰延税金資産	101	-
その他	150	1,120
貸倒引当金	△34,444	△41,343
投資その他の資産合計	744,284	559,591
固定資産合計	3,695,779	3,770,471
資産合計	8,789,134	8,677,050

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,117,083	883,435
短期借入金	1,500,000	1,600,000
1年内返済予定の長期借入金	160,800	160,800
リース債務	426,496	513,733
未払法人税等	149,024	107,666
賞与引当金	188,033	203,454
未払金	218,635	180,108
未払消費税等	129,838	20,632
未払費用	58,182	62,980
預り金	15,535	23,265
その他	96,970	40,655
流動負債合計	4,060,600	3,796,732
固定負債		
長期借入金	657,900	577,500
リース債務	510,520	708,450
繰延税金負債	91,443	23,061
その他	41,972	45,809
固定負債合計	1,301,837	1,354,822
負債合計	5,362,437	5,151,555
純資産の部		
株主資本		
資本金	471,143	471,143
資本剰余金	475,487	481,764
利益剰余金	2,509,653	2,721,508
自己株式	△265,641	△246,728
株主資本合計	3,190,643	3,427,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	190,646	70,002
為替換算調整勘定	24,205	26,431
その他の包括利益累計額合計	214,852	96,434
新株予約権	20,513	-
少数株主持分	687	1,372
純資産合計	3,426,696	3,525,495
負債純資産合計	8,789,134	8,677,050



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	5,321,298	5,645,196
売上原価	3,688,206	3,940,690
売上総利益	1,633,092	1,704,505
販売費及び一般管理費	1,471,668	1,374,958
営業利益	161,424	329,546
営業外収益		
受取利息	18	14
受取配当金	3,528	3,168
為替差益	469	3,269
貸倒引当金戻入額	-	2,869
その他	9,468	3,815
営業外収益合計	13,485	13,138
営業外費用		
支払利息	13,098	12,048
持分法による投資損失	-	6,844
出資金運用損	15,968	8,102
その他	2,853	331
営業外費用合計	31,920	27,327
経常利益	142,989	315,357
特別利益		
固定資産売却益	305	10
新株予約権戻入益	438	12,483
特別利益合計	743	12,493
特別損失		
持分変動損失	-	497
固定資産売却損	-	3,052
固定資産除却損	1,984	43
減損損失	466	-
特別損失合計	2,451	3,592
税金等調整前四半期純利益	141,281	324,258
法人税、住民税及び事業税	45,924	101,638
法人税等調整額	53,946	△53,310
法人税等合計	99,870	48,327
少数株主損益調整前四半期純利益	41,410	275,930
少数株主利益	-	185
四半期純利益	41,410	275,744

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	41,410	275,930
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,878	△120,641
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,309	2,225
その他の包括利益合計	△5,431	△118,416
四半期包括利益	35,978	157,514
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,978	157,332
少数株主に係る四半期包括利益	-	182

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	141,281	324,258
減価償却費	274,239	313,151
減損損失	466	-
のれん償却額	2,746	2,746
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,525	△1,787
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,010	15,421
受取利息及び受取配当金	△3,547	△3,183
支払利息	13,098	12,048
出資金運用損益(△は益)	15,968	8,102
持分法による投資損益(△は益)	△781	6,844
持分変動損益(△は益)	-	497
新株予約権戻入益	△438	△12,483
保険解約損益(△は益)	△5,359	-
固定資産売却損益(△は益)	△305	3,041
固定資産除却損	1,984	43
売上債権の増減額(△は増加)	363,373	732,472
たな卸資産の増減額(△は増加)	△147,011	△240,247
仕入債務の増減額(△は減少)	300,537	△233,648
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△45,474	△16,065
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△7,763	△150,875
その他	△3,953	△11,796
小計	902,545	748,539
利息及び配当金の受取額	7,520	3,939
利息の支払額	△12,915	△11,873
保険解約返戻金の受取額	5,359	-
法人税等の支払額	△225,225	△141,156
法人税等の還付額	0	4,583
営業活動によるキャッシュ・フロー	677,284	604,033
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△126,577	△77,674
有形固定資産の売却による収入	643	12
資産除去債務の履行による支出	△1,498	△7,615
ソフトウェアの取得による支出	△24,411	△965
出資金の払込による支出	△15,416	△28,318
出資金の回収による収入	9,482	10,431
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	73,155	-
敷金及び保証金の差入による支出	△22,174	△7,166
敷金及び保証金の回収による収入	2,817	10,697
その他	534	503
投資活動によるキャッシュ・フロー	△103,445	△100,095

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	6,800,000	7,000,000
短期借入金の返済による支出	△6,500,000	△6,900,000
リース債務の返済による支出	△199,294	△242,670
長期借入金の返済による支出	△179,150	△80,400
ストックオプションの行使による収入	936	17,160
配当金の支払額	△62,909	△63,831
財務活動によるキャッシュ・フロー	△140,418	△269,741
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	433,420	234,195
現金及び現金同等物の期首残高	1,012,485	988,196
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,445,905	1,222,392

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年8月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	広告ソリューション事業	テクニカルソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,593,382	2,727,916	5,321,298	—	5,321,298
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,030	130,076	131,106	△131,106	—
計	2,594,412	2,857,993	5,452,405	△131,106	5,321,298
セグメント利益	107,076	361,384	468,461	△307,037	161,424

(注) 1 セグメント利益の調整額△307,037千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	広告ソリューション事業	テクニカルソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,902,988	2,742,208	5,645,196	—	5,645,196
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,150	188,701	189,851	△189,851	—
計	2,904,138	2,930,909	5,835,047	△189,851	5,645,196
セグメント利益	183,076	458,964	642,041	△312,494	329,546

(注) 1 セグメント利益の調整額△312,494千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。